

フリックス 3 チーズジョ

FURIKUSU-CHI-JO

チクチン巡り後編



初対面のヨーコちゃんと
仲良くなりたくて
私の残りザーメンを
ご馳走します♡
「いいいいんですかあ？」
「うわぁ……私、
チーゴさんの
おちんちんに
パンこすり
つけてるぅ……♡」
「つ、頭をパンで
こすられて……♡」
「気持ちいい……♡」
「射精しちゃうと
量が多すぎるので
耐えながら朝食を摂ります。
「ふふ……可愛いなあ
ヨーコちゃん♡」
「たっぷり私の
子種を食べてね♡」
「あ……
チーゴさんの
赤ちやんのタネ……♡」
「朝食はこれで
食べられる……♡」
「ヨーコちゃん、
興奮が目に見えて
高まっています♡」
「わかります♡」



私のザーメンを飲み込んでいくたびに
とろーんとした表情に。
「あ、見てアリスさん、ヨーコちゃんが……」
「うわあ……さすがチーゾさん、
もうヨーコちゃんに火が
ついちゃったみたいだね♪」

どんだんスケベ顔に
なっていくヨーコちゃん♡
私のザーメンを全部
平らげて性欲が頂点に
達したみたいで♡



「も、もう抑えられない……っ
そう言って服を脱ぎだします。」

露わになったソレは
痴女の私も
驚きを隠せません。

ん!?





まるで重力を無視するかのように
巨大にそり立つチクチンに
圧倒されます。

っっはあ……っ♡こんなに
ボツキしたの久しぶりい……♡
早くシコシコしたあい♡
どうやら火がつくとっても
スケベな女の子になるみたい♡
それにしても
チクチンを持つ女の子すら
珍しいのにこんな巨根チクチンに
出会えるなんて……♡
今からこれを味わえるのが
楽しみで仕方ありません♪

「ヨーコちゃんの見たら
私のみじめになっちゃう……
はあ……憧れちゃうな」
「アリスちゃん、アリスちゃんのは
とっても分かる♡
でもアリスちゃんのは
アリスちゃんので楽しめるから
あんまり気にしないで欲しいな。
えへ♡みんなのハダカ、
オカズにしてオナっちゃん♡
ユンさん、ミルク床に撒き散らして
かまいませんかー？」
「うん♡いいよ♡私の部屋
ミルクまみれにして♡」
「どうやらオナニー大好きっ娘みたい♡
あの巨根チクチンからどれだけ
ドピュるか興味深々です♡」

し♡

し♡

し♡

♡♡♡

♡♡♡



「っんぎいっ♡イクう♡
見てえ♡私の変態ちくびチンポが
ドピユるところ見てえ♡♡」
その巨根に見合うほどの
大量のミルクが
鈴口から飛び出します♡
「あはあ♡母乳の香りがするのに
すっごいトロトロお♡
これ、もう精液なんじゃないかしら♡」
身体に合わせて分泌液も
変わっちゃうのかな？
朝一番の搾り立てミルクは
色も粘っこさも濃厚そのもの♡
ホットミルクのような
温かさがまた気持ちいい♡
私もちよっとオナニーしちゃおう♡

ビュッ

ビュッ

ビュルルッ

あ♡♡

んあ♡



「えへへ〜ヨーコママあ
おちちちよーだいっ♡」
「私もお……ん……れるお♡」
二人は馴れたように
ヨーコちゃんの手クチンに
むしゃぶりつきます♡

「二人とも可愛いよお♡」
私のちくびチンポ
また元氣になっちゃう♡
鈴口からトロトロと溢れる
ミルクを舐めとる二人♡
見るのは初めてだわ♡
普段三人が楽しんでる
プレイを知りたくて
私はオナニーに集中します♡
こんな機会は滅多に
ありませんからね♡



「ヨー」ちゃん、そろそろちくびチンポぶちこんでえ♡
「チー」ジヨさんの極太チンポも
味わえるくらいガバガバまんこに
なっちゃったんだから
責任とってイカせてよねー♪
「そっかー、二人は
ヨー」コちゃんのチクチンで
経験値を得ていたのね♡
「んー……どうだい？」
「おまんこお？ アナルう？」
「あらあら♡
両方のアナも
ヨー」コちゃんの
極太チクチンで開発
されてるなんて
私に負けないくらい
スケベさんなんだから♡
それにしても
乳首を陰部に
挿入される様なんて
どれだけのかしら♡
淫靡なだけで
想像するのだけ
興奮するのだけ
それだけの前で
繰り広げられるなんて……
私のチンポはもう
イキたくて仕方ないんだけど
頑張って粘って
三人の変態プレイを
しっかり見てオナニーを楽しまなきゃ♡

挿れてっ♡

早く
早く♡

ふー♡

ふー♡

ふー♡

ふー♡





「それじゃー入れるよ♡」
「んひい……っふ、太いい♡」
「こ、これえ♡これなの♡」
チクビにおまんこ責められる
なんてエロすぎ♡
もう病みつきよ♡
ずぶずぶと奥まで巨根乳首が
入り込んでいきます♡
ユンちゃんと言ってるの♡
乳首を挿入されるなんて
どれだけ気持ちいいの♡
その変態性も相まって
すっごい快感を得られそう♡
こんな変態セックスに
立ち会えるなんて♡
神様に感謝です♡



「今、私たちがねっば乳首でおまんこ
犯されてるのっば赤ちやんのっご飯が
出る性の象徴でっば犯されてるのっご
へんタイツ♡へんタイだわある♡」

自分たちの
異常なセックス状況を
想像しながら味わって
いるのね♡
チックンを活かして
積極的に変態プレイを
楽しむ彼女たちは
痴女の私からすれば
頼もしいかぎりです♡



「ひゅっ!?.....あ.....
チーシヨさん.....♡」

粘りに粘ってイキり立ちまくりの
チンポをヨーコちゃんの
綺麗な尻に思わず擦り付けて
しまいました♡
「わ、私もおまんこ味わいたいわぁ♡
ヨーコちゃん入れていい?」
「ああ.....いいですよぉ♡
私、チーシヨさんの配信見ながら
同じくらいおっきいオモチャで
オナってるんです♡
エナリヨなくぶちこんで
くださあい♡」



ああ♡

あ.....♡

ずっ

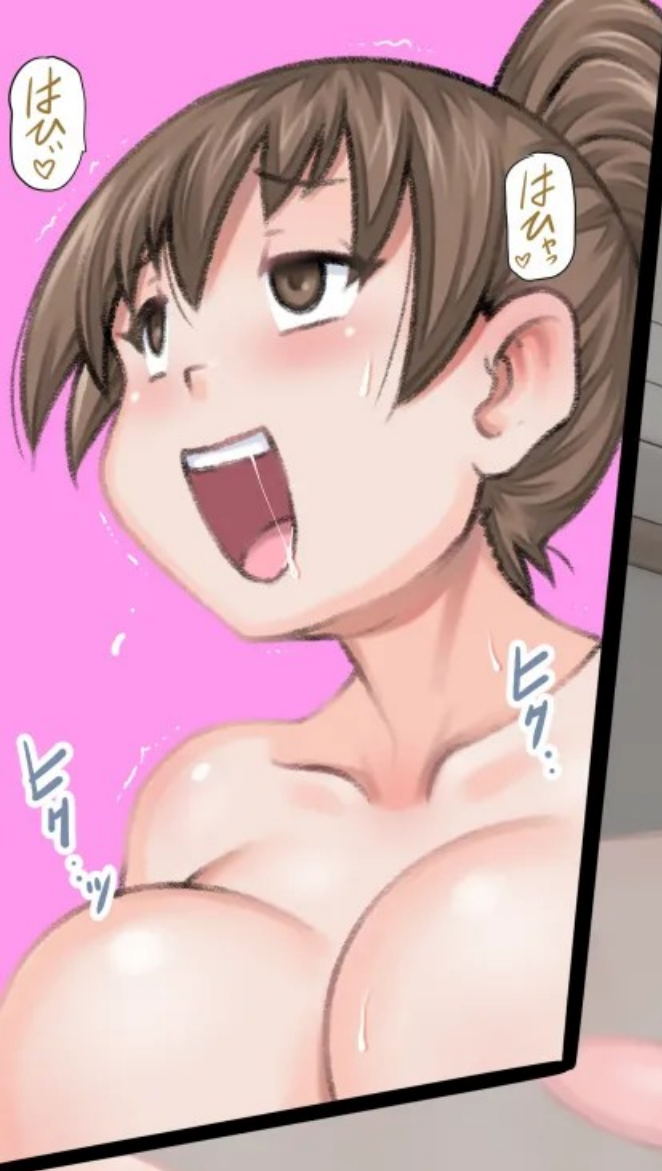
ずっ

ぬいっ..

ぬいっ..

嬉しい申し出に早速私の
メスチンポをお邪魔させて
いただきます♡

ほどよい締めまりを感じつつも
すんなり入るなんてかなり
太いので楽しんでいるみたい♡
「ああああ……憧れのチーショさんの
生ちんぽお♡♡夢みたあい♡」



昨日はたっぷりユンちゃんを楽しんで
失神しちゃったかのよう。床で朝まで
寝過ごしてしまった私たち。
ユンちゃんがお風呂の用意を
してくれてさっぱりしました♡
もちろん二人とも
裸のまんまです♡
「お風呂ありがとねー♪
ユンちゃんと一緒に
入りたかったなー」
「あははっ♡私もー♡
でも私たちそのままエッチ
しちゃうじゃないですか」♡
「うーん。おっしゃる通り。
朝ごはんも食べずに
エッチに没頭しちゃってたかも。
「朝はパンでいいですか？」
今日は先輩のジャムが
食べられるから楽しみ♡
「お？分かってるねー♡
二人でミックスジャム
味わっちゃう？
……と思つたら
玄関チャイムの
音が……
誰か来たみたい。」





ずち

はろ、♡

んあ♡

ねほ

お、♡

お、♡



絶頂の余韻を楽しむ間も
惜しむかのように
さらに快感を得ようと
アリスちゃんを
ユンちゃんを
押し倒して乳房同士で
擦り付け合います♡
「あんっ♡ユンちゃんのお
オッパイがビンビンなの♡
キモチいい♡」
「アリスさんのチクビも
カチカチですよ♡
ほら♡こんなに♡」
絶頂し果てたはずの
アリスちゃんの
勃起チクチンを
舐めて感触を
味わっています♡

「いいの♡いいの♡
オッパイ同士
擦り付け合うだけでこんなに
キモチいいなんて♡
もう女の子しか愛せない♡」
「むちやくちやに乳房を
押しつけあって
快感を貪る様子は
三人のオッパイは
もっとうだのチンポに
なっちゃうための器官に
絶対オッパイは
三人の性欲に
母性の象徴なんかに捨てて
しまったかのように♡





私はというと
念願のコーコちゃんの
極太ちくびチンポを
味わいます♡
「お……おほお……これが
チクチンの感触う……♡」
「二本同時なんてさすが
チーシヨさんですね♡」
おねだりして二本差し
下腹部がチクビで
いっぱいになるなんて
考えるだけで興奮
してしまいます♡
ゴリゴリと乳首に穴が
押し広げられる快感が
全身に行き渡ります♡
「う……これは二人が
ハマる気持ち分かるわぁ♡
又ルのミルクに
包まれてて感触がいいのぉ♡」

オッパイから繰り出される
ピストン運動が背徳的で
その行為を受けているだけで
フクフクしてしまします♡
「あはぁ♡配信やお外で
オナニーを
見てもらうのも
興奮するけど、
こんな変態
セックスをするのも
同じくらい
興奮しちゃうわ♡
変態を極めたい
私にとつて
とても嬉しい
経験です♡

そう♡

この♡



「あぁ……変態……っ
ヘンタイすぎるよお
チージョさん♡♡♡
変態を責める悦びに
ハマったヨーコちゃんは
没頭するように
私の穴を
穿り返します♡
「あうう……
も、もう抑えきれないっ
い、いうちやいそうっ♡」

あは♡

はう♡



「いぐうううっ♡♡♡
ちくびチンポいぐのおっ♡♡♡
大量のドロドロミルクが
私の中に注ぎ込まれます♡
「ああ……キモチいい……♡
赤ちゃんのご飯を
ケツ穴にも赤ちゃん部屋にも
注がれちゃったあ……♡」

んあ♡♡

イグウウ♡

ドクッ

ドクッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

チクチンが引き抜かれて
母乳が垂れ流れる感触を
楽しみます♡
「温かくて気持ちいい……♡
私のアナルとおまんこが
清らかなった気分……♡
その言葉とは裏腹に、
パツクリ開いた赤黒い穴から
白濁した液体を垂れ流す
光景は淫靡そのもの♡
またムラムラと性欲が
漲ってくるのを感じます♡

どろお：

とろー！

アリスちゃんとユンちゃんも
チクチンの亀頭を重ね合わせて
チンポの吮吸わせのよう
刺激を貪り尽くします。
「ユンちゃんのおっきい亀頭好きっ♡」
私のとキスしてえ♡
鈴口を重ね合わせていやらしい音を
たてながらチクチンキスを
繰り返します。

あゝあゝ

あゝ♡

「そ、それ刺激強過ぎっ
い、イクよおっ♡」
最後にズリツと鈴口を交差させて
同時に絶頂を迎えたみたい♡
身体を引きつきに合わせて
チクチンから母乳が次々と
発射されていきます♡
セックスは素敵だなあ♡

ぴゅっ

ぴゅっ

ずびゅっ

びゅっ

ひゅ♡

はぁ♡



かなり時間が経つたはずなのに私たちはまだエッチし続けます♡
「いいわぁ♡ヨッ」ちゃんのおまんこの中気持ちいい……♡
こんなに立派なちくびチンポ持つてるのにすごいわぁ♡
絶倫とはいえこの長時間でも私のチンポは萎えず、性欲も衰えず
チクチン美少女たちとの愛の営みに興じます♡
「なんでえ？こんなにイってるのにまだまだエッチし足りないのぉ♡」
「私も……疼いて疼いて仕方ない……もおセックス中毒かもお♡」
皆、私に引きつられて身体が快感を求めちゃってる♡



部屋の中が生臭くなり、
汗と愛液でベトベトになった身体すら
気持ち悪さよりも
獣じみた感情が増幅されて
欲望のまま4人全員でまぐわいます♡



ユンちゃんのお気に入り、エロ動画を音声大きめに垂れ流して
まるで性交パーティでもしているかのよう♡
画面上のふたりの女の子が、奴隷扱いされ、
同じように三人が私を責めてくれます♡
「チーシヨさんってば、こんなに乳首勃てて……
そんなに私の乳首に虐められたいんですかあ？」
「ヨコちゃん、立派な乳首にもてあそばせ、
嬉しそうにピンツと抵抗しています♡
この三人の奴隷になるなら、
喜んでこの身体を差し出すわ♡
私のことはいっぱいいっぱい♡
いじめてほしい♡



「せんぱあい……
好き……大好きですう♡」
そろそろ心地よい余韻を味わいたい
ユンちゃんにキスをせがんで
燃え尽きたそうに何度も舌を
絡ませ、吸い付いてきます♡
私も応えるように唇を重ね、
そろそろ終わりを迎えられるように
心も身体も準備を整えていきます♡

ちゅっ

れろっ

れろ

すっ
すっ



「お邪魔しまーす。おはよーユンちゃん」

わーい♡朝早くから
アリスちゃん遊びに
きてくれました♡

それとも一人の
大人しそうな可愛い子は……？

「ほら、ヨコちゃん
本物のチージョさんだよ♡」

おど

「は……初めまして……
あのお邪魔します……」

ヨコちゃんっていうのね。

それにしても
とっても凶悪そうなオッパイ♡
見てるだけで初対面の女の子の前で
いきなりボッキしちゃうそう♡

おど。

カチヤ……



アリスちゃんもヨーコちゃんも
キスを交わして最後へと向かいます。

イキり立っているものの
始めの頃より一回り小さくなった
ヨーコちゃんのチクチンを扱いて
最後の一搾りができるように
ケアをしています。



「それじゃーみんなで最後の「搾りしちゃうっか♡」

あ...

はぁ♡

ん♡

ん♡

いーわよ

にゅ♡

それに応えるように私たちのチクチンが勃起しはじめたのでお互いのチクチンを擦り付け合い最後の絶頂に向かいます♡





うん♡

んあ♡

ん♡

ぬちゃ

す

ぬる

す

むに

ぬちゃ...

ん♡

ん

ん

ふんちゃ

ぬるん...

ぬる

ん...

あ♡



体の中の愛液を全て吐き出すように
射乳と射精を繰り返す私たち♡

チクチンと私のチンポが
思い残すことがないようにと
最後の一滴まで搾り出して
くれました♡

性欲から解放され、心地よい余韻を味わう私たち。
「みんなありがと♡」とつてもいい経験になったわ♡」
「はい♡……私もです♡……また集まっでしましょ♡」
「あら♡アリスちゃんもう寝ちゃいそうじゃない♡」

ユンちゃんはもうすっかり眠ってしまった様子♡
「ささ、さすがにこんなの頻繁にはできないですね……私のオッパイも
こんなにへたりこんだのは初めてです……」
「うん、さすがにそうかも☆またこのまま眠っちゃうかな……」
「……でも目が覚めたらチクチン美少女に囲まれた現状でまた……」
「軽い疼きを感じつつもピクリともしないチンポを微笑ましく思いながら
私も深い眠りに落ちて行きます。」
「明日の朝への期待を抱きながら……♡」



このたびは「フリクスチーゾ チクチン巡り[後編]」を
お買い上げいただきありがとうございます。

チクチンプレイを
思いつく限り
詰め込みました。
……がまだまだ
底は深そう……。
あと4人描くの
大変……。

2025年2月
のうじる定食屋



- 18歳未満の方の購読・閲覧を
禁じます。
- この作品を無断で転載・複写
WEBなどで配布することは
厳禁です。

「えへへーせうかくだから皆で
楽しもうって思ってたんだー♡
そうなんだー♡ユンちゃんには
心配り上手な子でお嫁さんに
してあげたいくらい良い子♡
もーお腹へこべこー♪
早くアレ食べたい♡
早速ぬぎぬぎしちゃう
アリスちゃん♡一枚だけで
ワソピースー一枚だけで
ここまて来るなんて
アリスちゃんも
痴女の素質は
かなりのものだね♡
ああ……本物の
チージョさん♡
あ、あの……私
ヨーコっています。
フア、フアンです♡
え、ほんと？
ありがたいー♡
嬉しいなー♡
こんな痴女の
私にフアンが
いるなんて
私は幸せ者です♡
先輩、この子
すごいでしょ♡
火がつくまで時間かかるかも
だけども楽しみにしてくださいね♡
うん♡だったら濃いーの
ご馳走しなきゃね♪



「うわ〜画面越しに見てた
チージョさんのぶっかけゴハンが
食べられるなんて……しかも
一緒に……ねーねーユンちゃん、
動画録ってくれてる？」

「もっちゃんん♪
あっちこっちに
カメラ配置
してるから
バッチリだよ」

「私が言うのも
なんだけど
二人とも変態過ぎ」

「ほらあ、変態が
集まってるって
考えるだけこんな
チンポがイキり
勃っちゃった」

「二人もチクチンが
勃起してて準備万端の
ようです」

「それじゃー
お料理はじめるよー
美味しくな〜れって
心を込めて
ぶっかけよーね☆」

「はーいっ♡
はーいっ♡
変態料理……っ♡
た、たまらないよお♡♡」

「はーいっ♡
はーいっ♡
変態料理……っ♡
た、たまらないよお♡♡」



「ああっ出るっっ♡出るっっ♡出るっっ♡」
「見てえパンがどんどんスケベな食べ物になっていくっ♡」
朝二番の射精の快感が駆け巡り、精液も勢いよく飛び散ります。
「ああ……ね、粘っつい先輩の濃いい精液がチンポから
出てるっ……♡いつ見ても素敵よねアリスさん♡」
「うんっ♡貴重なお料理射精を
ご一緒できるなんて……」
「私たちのミルクと混じり合って……」
最高の経験だわぁ♡」

二人のスケベな感想に私の
射精はさらに拍車をかけることに♡
いつも以上に食べ物にぶっかけられて
とっても心地よい快感の余韻を味わえます。
「ああ……今日の分全部出ちゃったかも♡」
「そんな冗談が出るほどの射精量♡
なのに私のチンポはもっと射精したいかのよう
に疼いて仕方ないの♡」
でもせっかくの朝ごはんだから、しっかり食べて
エネルギー補給しなきゃですね♡





どろお..

三人による食べ物ぶっかけプレイを
ヨーコちゃんは見惚れの顔で眺めています。
あら♡オッパイがどんどん膨らんでくる♡
服の盛り上がり方がすごいことに♡
「配信で見てたザーメンご飯が目の前で……
やっぱり生で見るほうがとっても美味しそう……♡」
息荒くして私たち特製のミルクジャムパンを見て
生唾を飲み込む様子に私たちも嬉しくなっちゃいます♡
「さあ、みんなに気に入ってもらえるといいんだけど♡」
ヨーコちゃんに



77♡
77♡
いん!!..

わー♡

それぞれお行儀関係なく
床に座ってスケベな
朝食を堪能します♡
「んふ♡先輩のザーメンの
匂いが濃いく♡
こんなの味がするんだあ♡
ホントのジャムみたい
ドロッでパンに
しっかりついて
こぼさず食べれる♡」
「私たちのミルクの香りも
いいよね♡
性欲が漲って美味しく
感じるなんて♡
不思議な感覚♡」
二人ともトロトロと
鈴口から溢れ出る
残りのミルクをパンで
受け止めながら
美味しく口に
運んでいきます。

